

設立趣旨書

特定非営利活動法人 信州御代田ハピネスプロジェクト

1 趣旨

私たちが住む長野県御代田町の行政は、「住んでみたくなる魅力ある町づくり」を基本に、「自然が豊かな町」「子育てしやすい町」「健康に暮らせる町」の方針を掲げている。豊かな自然を残しながらも、長野新幹線の駅（軽井沢・佐久平）へ車で20分程度と利便性も高いため転入者も多く、御代田町民の人口はこの15年で約1.2倍と飛躍的に増加してきた。また出生率が高いことから、住みやすい町であることが裏付けされている。人口増加とともに福利厚生施設が充実し、学校の校舎も新しくなるなど、町には活気が見られ更に住みやすい町へと変化を続けている。一見、何の問題もなく喜ばしい状況にも思えるが、一方で課題も出てきている。

ひとつ目の課題は“伝統・文化の維持伝承”だ。

御代田町には日本一の長さの龍が舞う「龍神まつり」や、県無形民俗文化財にも指定されている「寒の水」、歴史ある寺院、昔ながらの遊びや地域で守り抜いてきた行事など、大切に培ってきた古き良き伝統や文化がたくさんある。新しい転入世帯が増え続ける中、これらをどう守り、次世代に遺せるかを考えなくてはならない。

ふたつ目の課題は“時代に則した地域の創造”である。ひとつめの課題とは対照的な課題だが、昨今のブーム「ご当地」の文言にも象徴されるように、地域には自らをPRする訴求力が問われている。また時代の移り変わりは速く常に新しい情報を求められ、そのニーズを素早くキャッチアップする能力が必要である。そこで、私たちは行政ではカバーしきれない細かなニーズに対応すべく、2点の課題解決のために地域に密着した下記の活動を決意した。

① 御代田に特化した情報の発信

情報通信技術（IT）を用い、店舗、イベント、コミュニティー、景勝、活動、広告などを総合的に案内するポータルサイトを構築・運営していく。新しい情報を常に発信し続けることにより、町民はもちろん町外へ魅力の訴求をする。ひいては、フィルムコミッション的な活動を行い御代田にスポットライトを当て、この町に暮らせる事を誇りに思える人を増やす取り組みをしたい。

② お年寄りと子供たちを結ぶコミュニティーを活発化し、伝統や文化の伝承を行う

核家族が増えている現在、昔遊びや伝統・文化を継承する機会を補うために、お年寄り子供たちを繋げる場が必要だと考える。お年寄りにとっては、子供たちに頼られる事による自己存在価値の確認。子供にとっては、お年寄りに認めてもらえる精神的安定、次世代を担う自覚の芽生え、何より町の魅力を知る貴重な機会を得ることができる。愛着のあるまちづくりへ住民の感化を促進しつつ、伝統を守り継いでいきたい。

③ 御代田の特産物を生かしたメニュー、また知的財産を生かしたオリジナルグッズの開発

御代田にはまだまだ発掘しきれない素敵な宝が眠っている。その宝を掘り起こし、御代田のオリジナルグッズやメニューなどの制作を通し町の魅力の訴求をつづけ、町が掲げる「住んでみたくなる魅力ある町づくり」の一助となりたい。

上記に掲げた活動ができれば、町に“幸せと喜び＝ハピネス”がもたらされるのではないかと、この思いから、この団体を「信州御代田ハピネスプロジェクト」と名付ける。